平成26年度 入試概要

※9月(大学)、11月(専門学校)までの実施予定を記載しています。

森ノ宮医療学園専門学校

約40年にわたって培ってきた臨床の森ノ宮の伝統を受け継ぐ医療人に!

鍼灸学科 [修業年数]3年		
	午前コース	60名
	昼間コース(医療資格者コース含む)	60名
	夜間コース	60名

取得資格 はり師・きゅう師国家試験受験資格

柔道整復学科 [修業年数]3年		
	アドバンスコース	30名
	昼間コース	60名
	夜間コース	60名

取得資格 柔道整復師国家試験受験資格

オープンキャンパス

5月12日(日)	6月2日(日)	6月16日(日)	7月7日(日)	7月21日(日)	8月4日(日)
8月18日(日)	9月16日(月・祝)	10月6日(日)	11月2日(土・祝) 文化祭	＊文化祭の見学・個別相談になります。	11月3日(日)

入試日程

一般(社会人)・推薦・医療人入試

試験日	出願期間
5月12日(日)	4月22日(月)～ 5月 9日(木)
6月 2日(日)	5月13日(月)～ 5月30日(木)
6月16日(日)	5月27日(月)～ 6月13日(木)
7月 7日(日)	6月17日(月)～ 7月 4日(木)
7月21日(日)	7月 1日(月)～ 7月18日(木)
8月 4日(日)	7月16日(火)～ 8月 1日(木)
8月18日(日)	7月29日(月)～ 8月15日(木)
9月16日(月・祝)	8月26日(月)～ 9月12日(木)
10月6日(日)	9月17日(火)～10月 3日(木)

※学内推薦入試につきましては同封のリーフレットをご覧ください。

一般(高校生)入試

試験日	出願期間
10月6日(日)	10月 1日(火)～10月 3日(木)
11月3日(日・祝)	10月15日(火)～10月31日(木)

モーニング入試(9:30～)ナイター入試(19:30～)

試験日	出願期間
10月16日(水)	9月24日(火)～10月11日(金)
11月20日(水)	10月28日(月)～11月15日(金)

AO入試

試験日	試験日	試験日
6月 2日(日)	7月21日(日)	9月16日(月・祝)
6月16日(日)	8月 4日(日)	10月 6日(日)
7月 7日(日)	8月18日(日)	11月 3日(日・祝)

※AO入試の出願については、入試ガイドあるいはホームページにてご確認ください。

森ノ宮医療大学

技術・知識に加え、人間力を兼ね備えた医療人に!

鍼灸学科 [修業年数]4年	
鍼灸コース スポーツ特修コース	60名

取得資格
学士／はり師・きゅう師国家試験受験資格
中学校・高等学校教諭一種免許〔保健体育〕※
※スポーツ特修コースのみ。教職課程の履修が必要

理学療法学科 [修業年数]4年
60名

取得資格
学士／理学療法士国家試験受験資格

看護学科 [修業年数]4年
80名

取得資格
学士／看護師・保健師国家試験受験資格
養護教諭二種免許
(所定の科目を履修し、「保健師」資格を取得後、申請が必要)

オープンキャンパス

6月16日(日) 看護×鍼灸		6月23日(日) 理学療法×鍼灸		
7月20日(土)	7月21日(日)	8月10日(土)	8月11日(日)	9月16日(月・祝)

祝日授業見学会

7月15日(月・祝)

入試対策講座

面接対策講座 8月10日(土) 8月11日(日)
推薦・一般入試対策講座 9月16日(日) 9月22日(日)

入試日程

AO入試①

試験日	出願期間
9月 1日(日)	8月8日(木)～8月27日(火)

AO入試②

試験日	出願期間
9月29日(日)	9月9日(月)～9月24日(火)

NEW スポーツAO入試

試験日	出願期間
9月29日(日)	9月9日(月)～9月24日(火)

※大学の入試日程等詳細は、森ノ宮医療大学アドミッションセンター Tel:0120-68-8908までお問い合わせください。

各入試の詳細、10月以降に実施する入試日程については、ホームページでご確認ください。

専門学校 http://www.morinomiya.ac.jp/ 大学 http://www.morinomiya-u.ac.jp/

◎学園内推薦入試につきましては同封のリーフレットをご覧ください。

森ノ宮医療学園

編集発行責任者:浜田 暁　表紙画:岸野 由美恵

NO. 12
2013 JUNE

校友会会報

[卒業生インタビュー] P6・7
古武道と医療にまい進した35年
関口芳夫さん(大阪鍼灸専門学校鍼灸学科第3期生)

[校友会情報] P2-5・8-10
会長挨拶/理事長退任挨拶/理事長就任挨拶/第1回西日本鍼灸学術講習会/浜田会長 藍綬褒章受章/鍼灸室利用について/会則変更について/同窓会/儂農米通信9/My favorite1

寄付金募集について/寄付金申込者ご芳名 P27

[NEWS&EVENT REPORT]

森ノ宮医療大学 P11-15
卒業式・表彰者/入学式/大学広報室から/学生支援室から/学生相談室から/クラブ・サークル活動/コスモス治療院だより/大学図書館から

研究室訪問! P16
永瀬佳孝教授(森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科)

森ノ宮医療学園専門学校 P17-22
卒業式・表彰者/入学式/国家試験結果/吉川徹副校長特別講演会/みどりの風クリニック新卒者研修会/講道館大阪　寒稽古/日本マスターズ柔道大会/学務課から/広報室から

[INFORMATION] P23-25
治療室におすすめBook・CD/フロリダ代替医療大学で鍼灸研修/出版部/コアコンディショニング/こころの疲れにアロマセラピー

[みどりの風クリニックだより] P26

平成26年度入試概要 P28

未来の扉を大きく開けよう

森ノ宮医療学園校友会
会長
浜田 暁

長かった厳しい冬も終わりを告げ、まさに春本番。

3月には、新たに森ノ宮医療大学から大学院生4名を含む110余名が、専門学校においても300余名が医療人としての自信を深め、威厳を持って、社会に向かって巣立って行きました。社会に出ると、大学や専門学校で学んだことが、直接生かされる場面ばかりではなく、むしろ出会ったことのない困難や課題が立ちはだかることのほうが多いかもしれません。皆さん方は、これまで家族や先生に守られ、学校という安全なカゴの中で、学生という肩書きによって文字通り加護を受けてきました。しかし、これからは一人前の人間として自覚をもって行動することが求められます。仕事を通して、専門家としての学識、医療人としての人格、また、社会人としての良識に磨きをかけ、新しい夢の実現に向けて羽ばたいてください。森ノ宮医療学園はいつまでもあなた方を見守り、応援してくれることでしょう。あなた方には、強い絆でつながった仲間がいます。自信を持ってください。校友会も応援し続けます。

さて、校友会活動に目を向けますと、会員数が年々大幅に増加する中で、より効果的な活動ができるようガバナンスの見直しに着手し、会則改正を行いました。また、卒後研修、生涯研修の場である学術講習会の開催を専門学校、大学の部会組織で行うなど、各組織が有機的に連携しつつ各々が自立した活動を行っていくよう方向転換を図っております。

卒業生間の情報交換や交流、親睦を深める交流会についても、昨年は多くの大学卒業生の参加を得、盛大に開催され、さらに地方交流会も、和歌山県と山口県で開催されました。山口県での開催は、西日本の各地から卒業生らが湯田温泉へ集合し、地元の業団を巻き込んでの学術講習会という新しいスタイルが誕生しました。これは、今後の校友会活動の方向性を示唆する画期的な取り組みと言えるものであります。そのほか、学生支援や卒業生支援は継続して行い、母校と卒業生の絆、会員間の絆を結ぶ『校友会報』も誌面の充実に努めております。今後も、校友会活動を通してよりよい情報の発信に努め、会員の皆さんと強い絆で繋がってゆきたいと考えています。変わらぬご支援を心よりお願い申しあげます。

理事長退任のご挨拶

森 俊豪

この度、学校法人森ノ宮医療学園理事長を任期満了に伴い退任いたしました。平成9年5月、理事就任以来、大過なく務めることができましたのも皆様のご支援ご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

昭和55年、大阪鍼灸専門学校の教壇に初めて立って以来、解剖学の授業や実技実習を通して卒業生の皆様と接してまいりました。家業の鍼灸院を営みながら、教員として実に多くの経験をさせていただきました。若気の至りで授業中喧嘩もしましたね。また間違ったことなども講義したり…思い出せば今も赤面の思いです。辛抱強く聴いてくださった皆様には、感謝の気持ちとともに申し訳なく、もう一度お会いして謝りたいという気持ちでいっぱいです。

平成12年4月、坂口弘先生の後任として第4代理事長に就任いたしましたが、折しも学園内は創立者達の引退、社会的には規制緩和の波が教育会をも席巻するなど大きな曲がり角を迎え、学園を維持するためには教育システムの見直しや経営改革を推進する必要に迫られていました。

顧ると、戦後の混乱期を経て、伝統医学を国民の健康に資する医療とするべく尽力した多くの先達の志を受け、森ノ宮医療学園は設立されました。さらに平成19年には彼らが切に望んでいた大学教育や研究を森ノ宮医療大学・大学院開学で実現させることができ、今春、無事に大学院修士課程第一期卒業生が巣立っていきました。

学園のこの大きな変貌期に、理事長という職務を承ったことは本当に幸いでありました。その間、多方面にわたって得られた多くの知識と経験が私を成長させてくれたと思います。また学園の成長は私個人の人生観をも大きく変えた時期でもあります。それは信仰の働きという貴重な体験です。それは私個人の生活だけでなく、臨床や職務の中においても重要な意味を持つものとなりました。

さて、退任後は、しばらくの間、一教員として後継の指導に尽くしつつ、原点に戻り、天から食を得、再び一臨床家として貢献したいと考えております。

森ノ宮医療学園の真価を発揮するのはこれからです。一層困難な時代に、後を引き継ぐ清水尚道理事長はじめ、教職員の皆様には益々の奮闘を期待しています。校友会の皆様には、母校への更なるご支援ご協力をお願い申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。

森俊豪理事長在任中の主な出来事

年	月	主な事項
平成 9年	5月	学校法人森ノ宮学園 理事就任、教務科長兼務
平成10年	5月	財務諸表の適正化
平成11年	6月	賃金体系の整備と人事考課制度の導入
	7月	寄附行為変更 （理事、評議員定数変更　理事定数増員7→9人）
平成12年	4月	専門学校柔道整復学科を設置
平成13年	2月	専門学校新校舎　増改築工事竣工 はりきゅうミュージアム開館
	4月	理事長就任·教務部長兼務／専門学校鍼灸学科定員増 SantaBarbara College of Oriental Medicineと姉妹校締結
	6月	寄付行為変更（出版部の収益事業化）
	8月	学生の海外研修制度および学外臨床見学制度の導入
	9月	寄附行為変更 （理事、評議員定数変更、理事定数増員9→7～11人）
平成14年	3月	緑橋に校地·校舎を取得
	10月	中本新校地,校舎を取得
平成15年	3月	森ノ宮医療学園30周年記念式典挙行
平成16年	3月	中華人民共和国河陰市中医院と教育提携を締結
平成17年	2月	寄附行為変更 （私立学校法改正による理事会の強化）
	10月	コスモスクエアに大学用地を取得
平成18年	4月	森ノ宮医療大学　設置認可申請提出
平成19年	4月	森ノ宮医療大学　開学 森ノ宮医療大学准教授就任
平成20年	11月	大学南校地の取得
平成22年	1月	みどりの風クリニック,みどりの風鍼灸院を 緑橋に移転·拡充
	4月	アネックス新校舎竣工 大阪府立急性期·総合医療センターと相互連携協定締結
平成23年	5月	大学食堂棟竣工「メディカフェ」営業開始
	3月	大学新校舎西棟竣工
	4月	森ノ宮医療大学保健医療学部看護学科開設
	4月	森ノ宮医療大学大学院保健医療学研究科 保健医療学専攻(修士)設置
	7月	医療法協和会千里中央病院と相互連携協定を締結
	12月	医療法人錦秀会と相互連携協定を締結
平成24年	4月	大学保健医療学部鍼灸学科に教職課程認定
	5月	専門学校に保育所開設
平成25年	2月	公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院と 相互連携協定を締結
	3月	森ノ宮医療学園中期計画骨子策定 理事長退任
	4月	学校法人森ノ宮医療学園相談役就任

理事長就任挨拶

森俊豪理事長が任期満了によりご退任され、その後任として学校法人森ノ宮医療学園第5代理事長にご選任いただき、平成25年4月1日より就任させていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

40周年を迎える学園の歴史と、大学･専門学校･学園附属診療所、学園出版部を有し、大きく発展した学園の姿に、改めてその責任の重さを感じ、身の引き締まる思いでございます。

学園は大きくなりましたが、創設時に掲げられた「臨床に優れ、かつ豊かな人間性に裏打ちされた医療人を育成する」という建学の精神は、今もなお学園の基本であり、これからも継承、発展させていきたいと考えております。

校友会員の皆様におかれましては、日頃から学園運営に際しまして、多大なご協力を賜り誠にありがとうございます。学園の歴史は、卒業生の皆様のご活躍によって積み重ねられたものであります。これからも、卒業生の皆様に評価いただける学園であるべく、努力してまいる所存です。

現在、私立学校を取り巻く環境は大変厳しい状況を迎えております。それら多くの課題に取り組むために、今年度より中長期的な基本路線を策定し、教学組織と法人が緊密な意思疎通を図ることで、一体感をもって学園運営を推進していきたいと思っております。

森ノ宮医療学園の伝統を生かしつつ、さらなる発展を目指していくためには、校友会の皆様をはじめとする学園関係者の方々とのコミュニケーションが重要であると考えております。これからも引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第5代理事長として、学園の明日のために、先人の築いてこられた「森ノ宮医療学園のあるべき姿」の実現を目指し、真摯にそして全力で理事長としての責務を果たしてまいる所存でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

清水 尚道

校友会と業団のコラボ!

「第1回西日本鍼灸学術講習会」開催

専門学校鍼灸学科第2期夜間部卒業　**杉原 朝香**

立春も過ぎた2月の連休の10･11日、森ノ宮の学舎で東洋の妙味を学び、地方に散った者達が、三々五々長門の国湯田の地に集まりました。「森ノ宮医療学園校友会　第1回西日本鍼灸学術講習会」に参加するためです。この講習会は地元の鍼灸師会や鍼灸マッサージ師会の後援を得て、校友会会員と業団が地方鍼灸師の資質の向上を願って集ったもので、他の鍼灸学校卒業生が羨ましがること必至のイベントです。それが可能となったのも、創立40年という歴史ある森ノ宮の実績と、福岡の要会長を始め業団会長等役員を多く輩出している存在感の現れといえます。

この講習会への参加は、九州･中国･四国の会員を中心に呼びかけ、さらに口コミで拡がりました。

まず11日は前夜祭として、河豚会席「たつみ」で初顔合わせ、何十年振りの顔、いつもの顔…と集まった皆が河豚と地酒を堪能した後、場所を温泉旅館「一福」に移し、夜の更けるまで、鍼灸界や母校の話で盛り上がったのはいうまでもありません。

さて、講習会はカリエンテ山口第一研修室において、河野鍼灸師会会長（3期夜間部卒）、林全鍼師会会長の祝辞に続き、浜田会長の「これからの鍼灸師のあるべき姿」、鍼灸学科第2期昼間部卒業の上利敏先生「難経講義」、さらに森ノ宮医療学園講師吉田美智子先生の実技を交えた特別講演「美容鍼灸入門」で締めくくられました。講習会終了後は、昼食会へと進んでいきました。

最後にこの画期的な講演会が実現できたのも、実行委員を務めていただいた九州中国四国の代議員の皆様、特に身を削って奔走してくださった渡辺真二実行委員長、企画者の意を汲んで調整をしてくださった房前校友会総務部長には平身低頭して感謝いたします。

上利敏先生の熱血講義

吉田美智子先生の実技に注目

浜田 暁校友会会長　藍綬褒章受章

校友会事務局･総務　**房前 素徳**

2月17日、昨年秋の褒章で浜田 暁会長が藍綬褒章を受章されたことを祝う祝賀会（大阪府鍼灸師会主催）がシティプラザ大阪にて開催され、本学森理事長（当時）はじめ教職員、卒業生、日本鍼灸師会等業界関係団体や国会･府議会議員の方々など全国から170名がお祝いに駆けつけました。会場内はギターの生演奏による南米ラテンの軽快なリズムに女性ボーカリストが華を添え、終始晴れやかなムードで、長年にわたって業界を率いてきた浜田会長の受章を喜ぶ素晴らしい祝賀会となりました。

森前理長（左）･浜田暁会長（右）

卒業生インタビュー

古武道と医療にまい進した35年

関口 芳夫さん
大阪鍼灸専門学校
鍼灸学科第3期
夜間部卒業

「紀州徳川家武術指南役関口新心流柔術13代宗家」。24年度の校友会交流会で訪れた和歌山で、大河ドラマの主人公のような肩書きを持つ卒業生を発見!? さっそくお話を伺ってきました。

明治創業、“武士の商売”だった父から受け継ぐ

關口新心流は、戦国大名今川義元の一門、清和源氏に続く名流で、御流儀指南として紀州徳川家に仕えたようです。明治以降は紆余曲折あって、和歌山で武道および柔道教師を務め、明治37年、11代のときに門弟の育成とともに「柔道免許整復術　ほねつぎ専門　關口整骨療院」として開業したと聞いています。父は12代目で和歌山師範学校の教師でしたが、戦争で道場も焼け、さらに武道廃止などで柔道の教授もできず、5人の子供をかかえて生活のために整骨院を再開しました。しかし、父は商売に向いているとはいえず、まさに“武士の商売”で、患者さんは多くはなかったですね。

創立して3年目の大阪鍼灸専門学校へ

わたしも紆余曲折あって整骨院を継ぐことに決め、柔道整復師の免許を取って他所の治療院で修業をしました。勤めて4年目くらいのときに、これからは鍼灸の免許も必要だということで、大阪鍼灸専門学校の門戸を叩いたのです。26歳でした。大阪鍼灸は開学3年目で、まだまだ小さい学校でしたが、和歌山からの通学と、森秀太郎先生の評判を聞いて選びました。

当時は昼間部と夜間部の2部制でしたが、その区別も曖昧で、夜間部の方が昼間部で授業を受けていたり…自由な雰囲気がありました。現在副校長の尾崎朋文さんは同級生です。彼は18歳で入学されて、入学式は保護者同伴。初々しかったですね。

柔道整復術の満喫した昭和○年代

大阪鍼灸を卒業し、30歳で治療院を継いで今年で35年になりますが、最初の15、6年は毎日のように骨折や脱臼、打撲などの患者さんが大勢来られていました。午前中は主にお年寄り、午後からはクラブ活動で身体を痛めた中学生や高校生、夕方からは仕事帰りの会社員の方と、まさに三部制で治療して、体の空くことがない状態でした。振り返っても、整復術の醍醐味と面白さを味わうことができて、医療者としては、柔道整復師冥利に尽きる、やり甲斐のある時代でした。

プラス鍼灸で回復をフォローする

看板には鍼灸を掲げていませんが、もちろん鍼灸治療も行います。ただ、申し上げた超多忙の時期は、治療にスピードを要するので、柔道整復だけではすっきり回復しないときに鍼灸をするという程度、まさに奥の手という感じで使っていました。現実的に三部制でひっきりなしに整復関係の患者さんが来られているときは、鍼灸をする時間的な余裕がなかったのです。

今は、幸い?!患者さんが減って時間をかけられるようになったのと、患者さんも鍼灸を求められることもあって、大体患者さんの3分の1くらいに鍼灸をします。

整骨院の中身が変わってきた

開業して10年目に、關口新心流に加えて、子供柔道教室を開いて小中学生に柔道を教えるようになりましたが、彼らの成績がすばらしくて、徐々に柔道中心の生活になってしまいました。治療はもちろん続けていましたが、その10年くらいの間に整骨院に来られる患者さんの傾向が変わって、来院者数も減ってしまいました。整形外科医院が増えたもの影響しているのでしょう。

つまり、患者さんは骨と関係はないとわかっているようなものでもまずレントゲンを撮ってもらって大丈夫と説明してもらわないと納得されない。「レントゲンなしで骨折が治せるのか」と言われるわけです。手術の必要のあるものは別ですが、整骨院で整復するほうが早く回復するものもありますし、昔からそうしてきて遜色なかったわけですからね。

“体罰”はナンセンス

現在は子供柔道教室は閉鎖して、關口新心流のみ教授しています。下は中学2年生から上は60代、名古屋方面からも来られて、現在は25名です。居合術と柔術、剣術を根幹技法とする総合武術流儀で、我と敵との気の拮抗、調和、吸収、対処といった心身の扱いを修得することを基本としています。TV等で問題となっている体罰とは無縁です。子供柔道教室でも、もちろん同じです。いろいろな大会で、そんな場面を目にすることも確かにありましたが、体罰で伸びることがないのは確かです。武道の基本は自分と向き合うことですからね。

武術流儀として形という技術、伝書という文献、さらに袋竹刀等の稽古用具がともに残され、開祖以来400年創流の地、和歌山で関口家によって一子相伝されてきたことは誠に貴重であるということで、和歌山市に続いて平成22年に県の無形文化財に指定されました。息子も關口新心流を継ぐことが決まっています。治療院は残念ですが、わたしの代で終わりかもしれませんが。

関口整骨院
住所
〒640-8413
和歌山市島橋東ノ丁1-20
電話
073-455-7021
アクセス
大阪からJR新今宮、南海電鉄に乗り換え東松江下車、徒歩10分。

校友会から

校友会鍼灸室をご活用ください！

校友会鍼灸室は卒業生支援の一環として設置した時間貸し施術所です。

校友会会員であり、はり師及びきゅう師の免許を取得されている方であれば、簡単な登録で使用することができます。また卒業後の開業等についてのご相談も随時受け付けていますので、皆さんどうぞご利用ください。

活用例

- 出張･往診を主体としているが、来院を希望する患者さんへの対応として。
- 卒業後の友人と鍼灸治療の練習場所として。
- 開業準備の期間、一時的に使用したい。
- 他院に勤務しているが、知人や個人的に診ている患者さんを治療する場として。

登録方法

登録には以下の必要書類を提出してください。即日利用することも可能です。

1.利用申請書

2.誓約書

※1,2の用紙は校友会鍼灸室に設置。ホームページからもダウンロードできます

3.鍼灸賠償責任保険加入済み証明書のコピー

4.運転免許証･健康保険証･パスポート等のコピー

5.はり師･きゅう師免許証（**原本**もしくは**原本証合されたコピーを2部**）

※コピーの際は証書全体をコピーしてください（縮小可）。

☆上記1.～5.の書類を提出してください。提出に際しては、事前に下記管理担当者へ連絡をお願いします。

利用規定

- **鍼灸室利用可能時間**　平日9:00～21:00　土曜日 9:00～16:30　日曜日9:00～17:00
- **休室日**　不定休
- **利用料金**　登録料:無料　利用料:患者さん1人につき300円

問い合わせ･連絡先

所在地:大阪市東成区中本 2-5-41 森ノ宮医療学園専門学校　アネックス校舎

TEL06-6976-6000／管理担当:伊藤　※管理人在室時間:月･水･金:14:00～16:00

■ ホームページ／校友会鍼灸室　http://morinomiya1973.web.fc2.com/

校友会会則変更について

※誌面の都合上、変更点のみを記載

森ノ宮医療大学看護学科開設に伴い、去る5月20日開催の校友会総会にて下記の各項目が承認され、**※平成24年5月20日付（改訂･施行）されました。**

名称

第1条　当会は、学校法人森ノ宮医療学園校友会（以下本会という）と称する。本会は森ノ宮医療学園専門学校鍼灸部会と森ノ宮医療学園専門学校柔道整復部会、森ノ宮医療大学鍼灸部会と森ノ宮医療大学理学療法部会、**森ノ宮医療大学看護部会**をもって構成される。

会員の種類

第5条　本会の会員は次の者とする。

1.正会員:学校法人森ノ宮医療学園　森ノ宮医療学園専門学校鍼灸学科･柔道整復学科及び臨床研究科、森ノ宮医療大学保健医療学部鍼灸学科･理学療法学科･**看護学科、大学院**の卒業生。

2.学生会員:学校法人森ノ宮医療学園　森ノ宮医療学園専門学校鍼灸学科･柔道整復学科、森ノ宮医療大学保健医療学部鍼灸学科･理学療法学科･、**看護学科、大学院**の在校生。

細則

第3条　代議員は**正会員の中から50名以内として選び、総会において承認を得る。任期は3年とする。**

※2012年版『校友会会員名簿』収載の「校友会会則」（4-5p）は改訂前（平成19年5月23日改定･施行）を掲載していますので、上記変更点につきましてご確認くださいますようお願いいたします。

Class Reunion 同窓会だより

久しぶりの顔も加わって賑やかに!

専門学校鍼灸学科第33期昼間部卒　**色増 美智代**

昨年7月15日、33期昼間部同窓会を開きました。わがクラスは毎年1度は皆に声をかけ、集まっていましたが、今回は3人の先生方にも参加していただき、また久しぶりに顔を合わせることができたクラスメイトもあり、卒業後の臨床の話や近況報告も含め、鍼灸師としてお互いに刺激をもらうことができました。私たち鍼灸学科33期昼間部は何年経っても、学生当時と変わらない雰囲気で、時間が戻ったような、懐かしく良い雰囲気で、賑やかな会となりました。ご参加くださった先生方、クラスメイトの皆さん、ありがとうございました。

参加者　12名

参加くださった先生方　尾﨑朋文先生･森優也先生･小林章子先生

堂々たる風格に34年の重み

専門学校鍼灸学科第5期昼間部卒　**尾﨑 美夜子**

1月13日、古都･京都のがんこ高瀬川二条苑にて、昭和54年卒業の大阪鍼灸専門学校鍼灸学科第5期昼間部の同窓会を開催しました。地元大阪はもとより、福岡･富山･和歌山など各地より集ったクラスメイト18名はいずれも堂々たる風格。34年ぶりに会ってそれぞれの歴史の重みを感じました。来賓として坂本豊次先生にご出席いただき、大阪鍼灸時代の懐かしいプレハブ校舎を思い出しながら、学生時代のことや、その後の地域での活動の様子、お互いの健康状態など、尽きぬ話に花が咲きました。

参加者　18名

参加くださった先生方　坂本豊次先生（現森ノ宮医療大学鍼灸学科教授）

農農米通信 9　文化祭で恒例の農農米＆野菜完売！

専門学校鍼灸学科第2期夜間部卒業　**杉原 朝香**

昨年11月3日、専門学校文化祭では、無農薬で育てられた農農米（玄米･白米）、サツマイモ（鳴門金時）、トマト（サンマルツァーノ）、ピーマン、玉ねぎ、かぼちゃ、大根を販売していただき、売上金の4800円はアフリカで医療ボランティアを行っている「MOXAAFRICA(モクサアフリカ)」に寄付させていただきました。

雑草に苦労することはいつも云っていますが、草ばかりでなく虫たちにも苦労する米作り。虫駆除と云っても殺すのではなく、どこかに行ってもらうのが、農薬を使わない農農倶楽部の方針で、出穂期から乳熟期にかけてもみを吸汁し、斑点米など米の品質を低下させるカメムシの駆除にミントを植えたことは昨年ご報告しました。

今回の農農米は、そうして出来上がったミント米です。収穫量が限られているので、まとめ買いはしていただけず、せいぜいお一人500g入り袋1～2袋までで、まさしく秋の収穫を試食していただく感じです。一昨年干し柿用で大好評!だった西条柿はあいにく今回送ることができませんでした。豊作だった次の年はあまり採れないのです。その代わり大根･人参は葉付きで、癌の治療をされている方が大根の葉がいいと、買って帰られたとか。今年も皆さんに野菜本来の美味しさを味わっていただいて喜んでいます。

こんな事をやっている農農倶楽部です。農農ファームの見学、体験大歓迎です。いつでも連絡ください。

ところで、昨年は2学年下の友人、鍼灸学科第4期昼間部卒業の安徳信二さんが自作の皮製携帯･スマートフォンケースを携えて、農農米販売ブースに参戦。寄付金UPに一役買ってくれたようです。

農農倶楽部事務局　広島県府中市上下町上下1869 スギハラ鍼灸院上下治療室内　TEL:0847-62-4272

My favorite 1

自転車ライフ ～風に吹かれて

専門学校事務局　古谷 壽宏

私が自転車ライフを楽しむようになったのは40歳を過ぎてからである。きっかけは体力の衰えと健康保持のためで、自分でやれそうだということ、そして日常の自転車整備が可能なのも選んだ理由である。知人のサイクルショップと相談して選んだのが当時流行のブリジストン･レイダックである。一番安価な街乗り用タイプの前2段後ろ6段のギア付きドロップハンドルで、私の脚力ではギア比が高過ぎたのが後にわかった。この自転車も今年25歳になる。今でも乗れる状態で保管しているが各部所の金属疲労が心配である。連れ添って約3万㎞走ったが、そのほとんどが6年間の距離である。

乗り始めの頃は帰って来ると昼寝という状態が続いた。体力不足だ。やがて片道40㎞走れるようになった。最初、午前中だけ自転車に乗ると決めていた生活には最善の距離であった。吹田市の自宅から171号線→嵐山自転車道→嵐山渡月橋までの距離数である。高低差も15mの平坦地で、始めて嵐山に挑戦したときは休憩時間を含めて約2時間20分、脚力がつくと1時間38分で着けるようになった。他にめぼしい走行（片道）記録は、京都市三条河原町40㎞、亀岡湯の花温泉（一庫ダム経由）43㎞、神戸ハーバーランド38㎞がある。私の体力と脚力では連続走行時間は1時間が限度、走行速度は少しずつ延びて時速28㎞が最大、1日の走行距離は150㎞が限度で、この距離は自宅から滋賀県琵琶湖大橋147㎞、奈良県の石舞台148㎞、滋賀県の信楽148㎞などである。私の挑戦はこの程度であった。脚力不足でときには輪行という手段で鉄道を利用して楽しんだ。

私が主にトレーニングを兼ねて好きだったのは、280mの峠が数カ所と車の通行が比較的少ない〔自宅→176号線→477号線→一庫ダム→府道→477号線→亀岡市内→茨木街道→自宅〕のコース。さらに猪名川方面→三田→有馬→宝塚のルート、163号線を経て木津へ行く清滝街道もよく利用した。清滝トンネル完成後は車の通行も増えたが、難所だった清滝峠を2回目に越えることができてからは奈良、田辺方面のルートとして利用した。休日を利用する自転車ライフでは、遅くとも午後2時半頃には帰宅、そして安全走行。この2点を自分に言い聞かせた。そして幼い頃下り坂でブレーキワイヤーが切れて怖い目にあったこと、走行中にアルミのハンドルが金属疲労で折れて苦労して帰ってきたこと、錆びついたチエーンが切れたことなどの経験から日常整備にも力が入った。

走り慣れるとその分危険も増えるので、大阪サイクリング協会賛助会員になり自転車保険に加入し、近畿各地の自転車道の情報を手に入れた。最初の頃は目的地の往復だけであったが、脚力がつくと車ではできない寄り道もでき、さらにカメラも持参で、時には地元の方からの情報も得て、梅、さくら、ヤマツツジ、ヤマフジ、彼岸花、紅葉など季節ごとの変化や史跡に巡り会えたのも自転車ライフのお陰であった。毎年同じ季節には同じような場所へ出かけ、主に北摂地区がメインコースであった。

道は必ずどこかにつながっている。自転車でも通行しにくい道もある。奈良県では舗装された国道が突然なくなり目の前に地道の階段が続きそこに国道の標識があったことに驚いたことや、川西の多田銀山では舗装路の先は地道でしかも雨水の水路が細い道の真ん中に深く切り込んだ状態で自転車を押して歩いたことがあった。舗装された国道でも大阪と奈良の境にある400mほどの暗峠の大阪方面の急坂は歩いてしか通行できない難所の一つである。自転車ライフは年代や生活環境等によってそれぞれ過ごし方が違う。またロードレース、ヒルクライム、街乗りなど用途によって買う自転車も決まる。それでも自分が何をしたいのか決め、年代に応じた自転車ライフを楽しむことが大切である。

平成24年度大学卒業式･大学院修了式挙行 ～114名が巣立つ

3月14日（木）、森ノ宮医療大学卒業式および大学院修了式が、ホテル･ハイアットリージェンシー大阪で執り行われ、来賓、保護者の皆様、教職員に見守られながら、大学第3期生110名（鍼灸学科47名、理学療法学科63名）と大学院第1期生（4名）が巣立っていきました。

式典では、荻原俊男学長から「ノーベル医学･生理学賞を受賞された山中伸弥教授の物事に対する考え方･人生における姿勢のように、結果を恐れず、常に前向き思考で努力し、勇気を持ってチャレンジして欲しい。一人ひとりのそういう姿勢が、きっと目の前の患者様に喜びをもたらし、医学を発展させる原動力となるはずだ」との言葉が贈られました。また、大阪府立急性期･総合医療センターの吉岡敏治院長より「あなた方の選ばれた職業は、ある種テクニックを必要とする職人の世界で、熟達するのに年月を要する反面、日々の上達と年々の向上が自覚できる職業である。一年一年経験を重ね、知識と技術を習得し、同時に人間としての自己に磨きをかけることで自分の成長を感じとってほしい」とお祝いの言葉が贈られ、卒業生一同改めて医療人としての責任をかみしめていました。また送辞･答辞では気持ちのこもった学生の言葉に教職員の涙も誘われ、緊張感の中にも温かい式となりました。

式典に引き続いて祝賀会が行われ、卒業生たちは級友や恩師と4年間を振り返りながら、にぎやかに歓談していました。

第3期卒業生表彰者

理学療法学科	
最優秀賞	加藤　祐司
優秀賞	坂下　裕哉
日本理学療法士協会会長賞	井出　　寛
日本リハビリテーション学校協会会長賞	兒島　未佳
鍼灸学科	
最優秀賞	栗栖　圭史
優秀賞	和田　理沙
全日本鍼灸学会会長賞	坂本明日香
大阪府鍼灸師会会長賞	近藤　千里
全日本鍼灸マッサージ師会会長賞	本間加奈子
大阪府鍼灸マッサージ師会会長賞	田中　亮汰

平成25年度入学式挙行 ～232名が新たな一歩

4月2日（火）、平成25年度入学式が本学近隣のハイアットリージェンシー大阪で行われました。当日はあいにくの雨模様でしたが、鍼灸学科68名、理学療法学科68名、看護学科88名、そして3期生となる大学院生8名、総勢232名が将来への新たな一歩を踏み出しました。

各学科長･研究科長による入学生呼名、学長告辞、ご来賓祝辞の後、今年度、第5代理事長に就任された清水尚道理事長から挨拶があり、「授業は当然のことながら教員が学生のために行うものであるが、本学では学生のためだけではなく医療現場で待つ患者さんのためにも行っている。つまり授業はすべて患者さんにつながっているものである」と新入生へ授業に対する心構えを述べられました。また、新入生を代表して、理学療法学科入学の鳥羽優さんが誓いの言葉を述べ、新入生一同気持ちを新たにしていました。

式典終了後には保護者に方々を対象とした大学見学会･説明会を開催し、多数の保護者の方にご参加いただきました。

大学広報室から

連携病院や近隣大学と連携し、イベントを開催

1

1月13日(日)、大阪府立急性期･総合医療センターにおいて、高校1･2年生を対象に様々な病院の仕事が体験できる参加型イベント《ふれあい病院探検隊》が開催され、森ノ宮医療大学も連携大学として、体験ブースの出展を行ったほか、本学学生が運営スタッフとして参加しました。ブース内では、「はりと灸を体験しよう!」(鍼灸学科)、「あなたの中心線はずれていませんか?」(理学療法学科)、「ナースのたまご～ウルトラクイズ」(看護学科)と題した体験企画を実施し、終日大盛況となりました。

2 2月10日(日)、相愛大学と連携し、本学と同じ大阪･南港地区にあるポートタウンショッピングセンターで『食と健康フェスタ』を開催しました。本学は<呼気ガス分析装置を用いたエネルギー代謝測定>をテーマにしたブースを用意し、近隣にお住まいのみなさまを始め、たくさんの方々にご参加いただきました。本学以外にも、相愛大学をはじめ、南港病院、農林水産省近畿農政局のブースがあり、終日、賑わいを見せていました。

今年度も、本学では、『御堂筋kappo(5月12日)』や『みどりウォーキング(5月26日)』を始めとした、さまざまな地域イベントに取り組んでいます。

市民公開講座のご案内 ～森ノ宮医療大学×大阪府立急性期･総合医療センター連携事業～

大阪府立急性期･総合医療センターとの連携事業として昨年度、市民公開講座を開催し、地域の方々を始め、年間を通して約200名の方にご参加いただきました。今年度も引き続き、右記のとおり開催いたします。校友会会員の皆さまも奮ってご参加ください。

※申し込み方法は大学ホームページでご確認ください。

予防･治療から社会復帰へのケア
ー最近の進歩ー　全3回シリーズ

■**第1回『糖尿病』**　7月20日(土)13:30～15:30

基調講演　「糖尿病診療の進歩」
大阪府立急性期･総合医療センター
糖尿病代謝内科部長　馬屋原 豊

講演Ⅰ　「糖尿病と鍼灸治療」
森ノ宮医療大学　保健医療学部
鍼灸学科 教授　仲西 宏元

講演Ⅱ　「糖尿病と理学療法」
森ノ宮医療大学　保健医療学部
理学療法学科 教授　河村 廣幸

講演Ⅲ　「糖尿病と看護ーフットケアー」
森ノ宮医療大学　保健医療学部
看護学科 教授　藤本 陽子

■**第2回『認知症』**　9月16日(月･祝)13:30～15:30
■**第3回『肺がん』**　11月3日(日)13:30～15:30

学生支援室から

大学第3期卒業生から卒業記念品「サトザクラ」を植樹

平成25年3月14日(木)に大学第3期生の卒業式および大学院第1期生の修了式が、ハイアットリージェンシーオーサカで行われ、大学第3期卒業生から「サトザクラ1点」を大学に寄贈いただきました。この桜の木には、「後輩の皆さんもこのサクラの根のように医療人の基礎となるしっかりとした土台をこの森ノ宮医療大学で作り、立派な医療人に育ってほしい」という後輩への期待と、「自分たちもサクラが満開になる頃には社会人として3年目を迎えており、初心に立ち戻る意味でも大学にサクラを観に帰ってきたい」いう卒業生自らの希望が込められています。3年後は立派な社会人として、是非後輩たちにその姿を見せに帰ってきてくれることを大学教職員一同楽しみにしています。

平成24年度第2回教育後援会総会開催

3月9日(土)、森ノ宮医療大学東棟221教室にて、平成24年度第2回(通算第10回)森ノ宮医療大学教育後援会総会が開催され、28名の会員の皆様にご参加いただきました。総会は、教育後援会会長、学長の挨拶から始まり、議案については参加者から積極的な意見が多数出るなど活発な意見交換の後、全会一致で可決、承認されました。

審議終了後、学生支援室就職担当者より平成24年度進路状況報告ついての説明が行われ、皆さん熱心に聴き入っておられました。総会終了後、学科別懇談会、クラス担任による個別相談会が行われました。

平成24年度の教育後援会活動も本総会を締めくくりとして無事終えることができました。教育後援会の運営にご協力いただきました会員ならびに保護者保証人の皆様には心より御礼申し上げます。

平成25年度は9月23日(月)に開催する予定です。今後とも引き続き本会活動にご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学生相談室から

アサーションスキルを!

学生相談室･カウンセラー　**前川 葉子**

入学式を終え、新たな世界に一歩を踏み出そうとしている学生たちを見るにつけ、どうか充実した学生生活を過ごせるように、人としての根っこを固めていける時間となるようにと願ってやまない。確かに、当初は友人とのつき合い方をはじめ、人間関係が不安かもしれない。しかし、不安や恐れに直面しても決して揺らぐことがないだけの「人間関係力」を高めていってほしいと思う。そうした際に役立つのが、「アサーションスキル」の活用である。「アサーション」とは、自分も相手も大切にしながら、自身の考えや気持ちを適切に、そして率直に表現するコミュニケーションスキルである。例えば、自分が「今日は早く寝るぞ～」と思って寝ようとした時に友人から電話がかかってきた。話は長くなり、相手はなかなか電話を切ろうとしない…。友人を尊重しすぎると自分が寝られない、自分を尊重して「眠いから電話を切る」では友人を傷つける…。「話を聴きたいが、明日の朝早いので今日は寝ておきたい。明日の夜なら時間があるので話を聴くよ」と言ってみる。もちろん自分も相手も尊重したつもりでもうまく伝わらない場合も出てくるかもしれないが、失敗を恐れず、自分の考えや気持ちを精一杯相手に表現し続ける。その繰り返しがそれぞれの「人間関係力」となり、人としての根っこを固めていくことにつながるのだろう。

学生相談室の利用について

場 所　東棟1階キャナルクラブ隣「学生相談室」
時 間　毎週木曜日･金曜日　13:00～20:00
※都合により変更になる場合があります。
予 約　学生相談室カウンターまで
※予約優先ですが、予約なしでも可能な限り対応させていただきます。

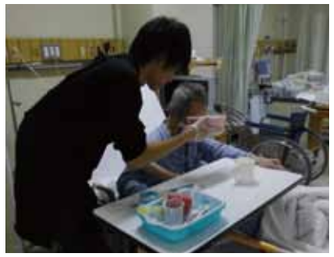
クラブ・サークル活動

看護ボランティアサークル ～家族のような関わり方から

看護ボランティアサークル（部長:西村美里さん/顧問:藤本陽子先生）は、24年7月、看護学科1年生（現2年生）が自主的に立ち上げ、現在のメンバーは25名。

「最初、学生たちは何もできないはがゆさを感じていたようですが、アルバイトではないのでできなくてもいい。ただ居るだけでもいい。むしろ必要以上のことをして患者さんに迷惑がかかったり医療事故が起こったりしないように」と当初藤本先生はアドバイスされたが、その心配は全く杞憂だった。「患者さんに向ける学生たちの笑顔はとてもかわいく、患者さんがチューブをいっぱい付けられていても気後れしないで自然に脚をさすったり手を持ったり。ほかの患者さんからも呼び掛けられていた」。しかも学生からは「『診療援助論』や『生活援助論』の重要性が臨地でわかった」と教師冥利に尽きる嬉しい言葉が上がった。

看護ボランティアの仕事は、学生の希望と病棟からの要望を付き合わせて決定されている。すべては看護師さんの指導の下で、基本的に看護行為は行わず、ある意味"家族のような関り方"と言える。学業を本分に自らの健康管理を怠らず負担とならないように続けること。2年目の今年、クラブへの昇格を目指している。



「孫のようで来るのが楽しみ」という患者さんの声、「ケアの実際を見る事で、自分の目指す看護師像に一歩近づき、看護学生として患者さんと関わることの楽しみに繋がっているようです」と施設担当者から高評価を受けた。

（大阪府立急性期･総合医療センター提供）

コスモス治療院だより

森ノ宮医療大学教授･附属施術所所長　**仲西 宏元**

新緑の候、会員の皆様におかれましてはご清祥のことと存じます。昨年度は施術所に対してご配慮をいただきありがとうございました。この1年間は診療のみならず様々なイベントに参加してまいりました。特に100名を超える市民の皆様に来場いただいた昨年10月20日の「大阪ヘルスジャンボリー2012」では専門学校と共催で「体質チェックと東洋医学的ツボ療法相談」ブースを設け、アンケートと問診により体質チェックを行い、東洋医学でいう五臓に分類し、各臓に分けたツボの位置やツボの刺激の仕方など様々な質問に対して説明を行いました。

新年度から、より多くの患者様が来院しやすいように診療時間の改定を行いました。また学生の施術所実習を充実するため実習回数を増やし、また担当教員の増員を図り、森ノ宮医療大学大学院修士課程修了の新人1名を採用しました。また研修鍼灸師の受け入れについても、新しく2名の研修生が診療に従事しております。

コスモス治療院では臨床･学科教育･卒後教育と今以上に充実していきたいと思っております。今後とも会員の皆様のご協力ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

4年生の施術所実習の指導を行っている辻丸泰永先生（左）と
今年度から鍼灸学科の教員に採用された本学大学院卒業の高崎雷太（右）先生

新診療時間	
午前診療	10:00～12:00（月～金）
午後診療	13:00～16:00（月･水･木）／13:00～18:00（火･金）
予約受付	TEL:**06-6616-6933**

大学図書館から

司書　**近藤 美由紀**

小さな図書館だからこそ!

一昨年、中村允之館長は館長就任の挨拶で、「小さな大学の小さな図書館でも思いは高く!」と述べられました（本誌No.6）。大規模な図書館では、カウンター業務は外部委託となり職員が学生と会話できるのは、4月のガイダンス時だけとよく聞きます。私は日本図書館協会元委員長の三苫正勝先生に司書の講義を受けましたが、その中の「図書館の中核はカウンターである。カウンターに立たずして、利用者の動向や本の流れは知れない。実際にカウンターに立ってこそ司書業務なのだ。」という言葉がとても印象に残っています。

学生の名前を覚えたり、自然に会話をしたり、日々学生に直に接して、課題の提出などの状況に応じて臨機応変に動けるのは、小さな図書館だからこその強みです。今後も、細やかな配慮ができる図書館を目指して、"共に希望を語り合える図書館"であり続けるため職員全員で頑張っていきます。

図書のご寄贈ありがとうございました

アステラス製薬･石川俊明･伊藤剛･医道の日本社･上西祥子･荻原俊男･川畑浩久･河村廣幸･教育後援会･現代鍼灸編集部･齊藤大･坂出祥伸･佐藤寿哲･作間宏輝･重永史子･全国消費生活相談員協会･大宮司信･髙橋裕子･築山房乃･辻幸恵･永瀬佳孝･中田啓吾･中村允之･日本刺絡学会･日本私立大学協会北海道支部･日本赤十字社看護師同方会･能勢英里香･久下浩史･ベネッセコーポレーション･桝井靖之･宮本忠吉･村上生美･安田実･山口真人･山下仁･（社）全国老人保健施設協会･MOA健康科学センター（五十音順、敬称略）

Laboratory Visit

研究室訪問！

森ノ宮医療大学大学院
保健医療学研究科

永瀬 佳孝教授

担当教科:生理学

行動を見る～知覚と運動との関係～

「毎年、授業の初めに見えないもの、測ることのできないものは信用しないように」と学生に言うことにしています」。

大学院生のときは、一昨年亡くなられた本学元教授の重永凱男先生のもとで三叉神経系の形態と機能を研究。森ノ宮医療大学大学院では、知覚情報に含まれる運動情報を、行動から定量化する方法を模索している。これにはオーストラリア･メルボルン大学で行った心理物理学（サイコフィジックス:psychophysics）的方法が役立っている。

「人間は主に環境の中の光や音を頼りに行動しています。光から得られる視覚情報は環境の中に情報源があり、その位置や細かい部分の情報を含んでいます。一方、音は様々な方向に広がったり曲がったりするけれど光のように遮断されないから連続した情報が得られます。つまり聴覚情報は空間分析の能は低いけれど時分析能が高いと言えます。

義父は吹奏楽の指揮者でしたが、亡くなる少し前から車椅子の生活でした。それが、コンサートで楽団員を前にしたときに立ち上がって指揮をし始めたことがありました。アルツハイマー脳症の方でも思い出の曲を聴くと歌い出したり、歩行障害があって病院でのリハビリはうまくできない方が自宅では歩くことができたりすることがあります。慣れ親しんだ環境の中に行動の手がかりがあると思うのです。」

その“手がかり”を定性的に見つけ、そしてそれを定量化する―永瀬教授の研究は、障害を持った方々のリハビリテーション、QOL（生活の質）の向上に新しい方向性を示すものとして期待されている。

プロフィール

大阪大学大学院歯学研究科歯学基礎系卒業
大阪大学博士（歯学）
大阪大学助手、メルボルン大学客員研究員、
北海道医療大学講師を経て、現職。

森ノ宮医療学園専門学校 MORINOMIYA COLLEGE

第38回卒業式 ～様々な思いを胸に巣立つ

事務局 **森永 理恵子**

3月10日（日）春時雨の中、ホテル大阪ベイタワーにおいて第38回卒業式が挙行され、鍼灸学科132名、柔道整復学科118名が巣立っていきました。

来賓の先生方、保護者の皆様に見守られながら厳かに始まった式典は、校歌斉唱･卒業証書授与･表彰と滞りなく進み、各賞表彰では名前が呼び上げられるたび受賞する学生自身をはじめ、会場から歓声と拍手が上がりました。

式辞では、安雲和四郎校長から3年間の学生生活を通しての成長とともに東日本大震災などの社会の大きな変化をもとに、「患者さんの助けがなければより良い医療はできない、常に探究心を持ち、変化に対応する姿勢を身につけましょう」と医療人としての自覚と姿勢が述べられ、卒業生たちは真剣な表情で聞き入っていました。

また在校生を代表して生駒暁さんによる送辞では、文化祭実行委員会会長として困難に直面した時、「大丈夫か?」「こうしたらいいよ」と先輩たちに優しく声をかけてもらって嬉しかったことなどのエピソードが披露され、卒業生からももらい泣きも見られるなど、学校生活の最後にふさわしい感動の締めくくりとなりました。

式後、同会場で行われた謝恩会では、先生方への感謝とともに、結婚を機に退職される鍼灸学科教員の志垣清湖先生へのお祝いサプライズなど感動のシーンが繰り広げられ、卒業生たちは学生生活を惜しみつつ、楽しい時間を過ごしました。

第41回入学式 ～259名がスタートを切る

事務局 **森永 理恵子**

4月3日（水）花冷えの中、第41回入学式がアネックス校舎4階にて執り行われました。

式典では、安雲和四郎校長より「与えるだけではない最高の教育を行いますので、あなた方もそれに応えるよう最高の努力をしてください。」と厳しい中にも温かい言葉が送られました。またさらに今年度より第5代理事長に就任された清水尚道理事長からは、『建学の精神』とともに「すべては臨床現場につながっている、つまりすべては授業の先にある患者さんにつながっている、一日一日を大切に、わが校の伝統を継承してもらいたい。」と熱く期待を込めた言葉が述べられ、新入生はもとより教職員一同、気持ちを引き締めました。

また浜田暁校友会会長の歓迎の言葉に続き、列席くださった役員、非常勤講師の先生方、保護者の皆様が見守る中、新入生を代表して中村知美さんが誓いの言葉を、在校生を代表し天野朝比さんが歓迎の言葉を述べ、新入生259名は鍼灸師･柔道整復師への道を歩み始めました。

Facebookにアクセスを!

森ノ宮医療学園専門学校　公式Facebookをご存知ですか?

ニュース･イベント情報、各種セミナーの案内や、授業風景など、旬の話題を発信しています。Facebookを利用されている方は、ぜひ『いいね!』を押してください。なお、公式ページは情報発信が目的のため、Facebook上で寄せられた個別の質問･ご意見には対応できませんので、あらかじめご了承ください。

平成24年度専門学校 国家試験合格率

はり師	94.2%
きゅう師	95.0%
柔道整復師	90.6%

森ノ宮医療学園専門学校の平成24年度はり師･きゅう師、柔道整復師の国家試験の合格発表が3月27日に行われ、はり師114名･きゅう師に115名、柔道整復師に96名が合格しました。合格率の全国平均がはり師93.5%、きゅう師94.3%、柔道整復師83.7%となっており、いずれも全国平均を上回る良好な結果でした。

※合格率は新卒者のみを対象とした数字です。

平成24年度卒業生表彰者

鍼灸学科第38期

学校表彰

賞　名	クラス	氏　名
最優秀賞	昼間部	伊村　夕子
優秀賞	医療資格者コース	高　園美
	夜間部	津田　智広
特別精励賞	医療資格者コース	井上　雅央
	医療資格者コース	林　正治
	昼間部	延命　勇
	昼間部	木下　良美
	昼間部	西村　有紗
	昼間部	矢島　道子
	夜間部	伊丹　忍
	夜間部	國枝多希子
	夜間部	日笠　寛文
	夜間部	福岡千香子
精励賞	医療資格者コース	孫　大永
	昼間部	占部りさ子
	昼間部	川口屋由起
	夜間部	田中　秀幸
努力賞	医療資格者コース	田野　裕
	医療資格者コース	辻岡　芳樹
	昼間部	加藤慎一朗
	昼間部	塚本　有希
	昼間部	宮本　實
	夜間部	小林　清
みどりの風賞	医療資格者コース	鈴木　耕平
	昼間部	津田　隆幸
	夜間部	前田　亮太
	夜間部	國枝多希子

団体及び業界からの表彰

賞　名	クラス	氏　名
知事賞／東洋療法学校協会会長賞	医療資格者コース	山口　剛
日本鍼灸師会賞	昼間部	矢島　道子
全日本鍼灸マッサージ師会会長賞	夜間部	福岡千香子
全日本鍼灸学会会長賞	医療資格者コース	岡村　徳武
大阪府鍼灸師会会長賞	昼間部	鶴田　浩子
大阪府鍼灸マッサージ師会会長賞	夜間部	堀　智紀
職業教育・キャリア教育財団賞（旧専修学校教育振興会賞）	昼間部	久保田将希
大専各賞	昼間部	平山　浩太
	夜間部	日笠　寛文
校友会長賞	夜間部	石脇　秀俊
卒業研究賞	医療資格者コース	岡村　徳武
	医療資格者コース	髙橋　健太
	医療資格者コース	林　正治
	昼間部	矢島　道子

平成24年度柔道精励賞

段　位	クラス	氏　名
初　段	アドバンスコース	太田　知子
初　段	アドバンスコース	勝川　裕花
初　段	アドバンスコース	髙山　隆二
初　段	昼間部	岡田　青年
初　段	昼間部	岡田　裕貴
初　段	昼間部	口田　栄治
初　段	昼間部	島田　博之
初　段	昼間部	鈴木　基寛
初　段	昼間部	操野　嵩
初　段	昼間部	立田　舞香
初　段	昼間部	中前　賢司
初　段	昼間部	西尾　明来
初　段	昼間部	野﨑　崇光
初　段	昼間部	●澤　邦子
初　段	昼間部	原　健太
初　段	昼間部	古井　嘉人
初　段	昼間部	松本　大右
初　段	昼間部	藪田　浩之
初　段	昼間部	山口　智史
初　段	昼間部	与田　吉朗
初　段	昼間部	安樂　広基
初　段	夜間部	色増美智代
初　段	夜間部	大西　徹

柔道整復学科第11期

学校表彰

賞　名	クラス	氏　名
最優秀賞	アドバンスコース	三輪　昂平
優秀賞	夜間部	柚木　勇
特別精励賞	アドバンスコース	太田　知子
	アドバンスコース	髙山　隆二
	アドバンスコース	山名　輝
	昼間部	岡田　裕貴
	昼間部	中前　賢司
	夜間部	奥田　容将
	夜間部	奥野　友也
	夜間部	篠原　卓也
	夜間部	能町　幸宏
	夜間部	山下　洋輝
	夜間部	柚木　勇
精励賞	アドバンスコース	赤松　裕馬
	アドバンスコース	吉井　惇
	昼間部	鈴木　基寛
	昼間部	野﨑　崇光
	夜間部	岩本　陸
	夜間部	黒川幸次郎
努力賞	アドバンスコース	髙山　隆二
	アドバンスコース	寺口　朋宏
	昼間部	岡田　裕貴
	昼間部	藪田　浩之
	夜間部	木村　敦裕
	夜間部	竹之下圭一
みどりの風賞	アドバンスコース	太田　知子
	昼間部	朝倉　健斗
	昼間部	中村　友美
	夜間部	岩川　健太
	夜間部	大西　徹
	夜間部	木原　創

団体及び業界からの表彰

賞　名	クラス	氏　名
知事賞	昼間部	長濱　知之
全国柔道整復学校協会会長賞	昼間部	操野　嵩
	夜間部	篠原　卓也
日本柔道整復師会会長賞	アドバンスコース	竹上　智哉
日本柔道整復接骨医学会会長賞	夜間部	澤松　登
大阪府柔道整復師会会長賞	昼間部	渡邊　康太
職業教育・キャリア教育財団賞（旧専修学校教育振興会賞）	昼間部	山縣　将之
大専各賞	昼間部	平松　裕貴
	夜間部	色増美智代
校友会長賞	昼間部	口田　栄治
	夜間部	能町　幸宏

段　位	クラス	氏　名
初　段	夜間部	奥野　友也
初　段	夜間部	垣野　貴司
初　段	夜間部	岸田　純
初　段	夜間部	木原　創
初　段	夜間部	木村　敦裕
初　段	夜間部	木村　崇
初　段	夜間部	楠田健二郎
初　段	夜間部	熊谷　正人
初　段	夜間部	坂本　久典
初　段	夜間部	澤松　登
初　段	夜間部	髙尾　英二
初　段	夜間部	竹之下圭一
初　段	夜間部	谷野　基和
初　段	夜間部	西村亜希子
初　段	夜間部	福島　雄介
初　段	夜間部	元山　隆博
初　段	夜間部	柚木　勇
初　段	夜間部	矢谷　卓也
初　段	夜間部	小野　暢彦
初　段	夜間部	溝口　哲平
初　段	夜間部	和田　憲宙
初　段	夜間部	井上　龍志
参　段	夜間部	浅田　幸芳

吉川徹副校長による特別講演会を開催しました

4月13日(土)、森ノ宮医療学園校友会、森ノ宮柔道整復研究会共催による吉川徹副校長の特別講演会を開催しました。

柔道整復学科の初代学科長である吉川徹先生は昨年、還暦を迎え、この4月には副校長に就任されました。このことを記念しての講演会です。タイトルは、「基礎的知識で対応する外傷治療、柔道整復への熱い思い～1702人の教え子へ送るメッセージ～」。吉川先生は柔道整復師として、外傷治療のプロとして多くの症例に携わってこられました。その根底を支えているのは、いかなるケースにも対応するための基礎的知識です。その基礎的知識の重要さをレントゲン写真や整復の動画を用いて説明されました。目の前にいる患者さんの状態を基礎的知識を用いて想像し、整復、固定、後療の方法を創造する。そんな思考が重要であることを力強くお話しされました。

当日参加した100名を超える卒業生は久々の吉川節に真剣に聴き入っていました。柔道整復学科で教わった外傷治療に対するこだわりや熱い思いを思い出せたのではないでしょうか。

森ノ宮柔道整復研究会（森柔研）について

森ノ宮柔道整復研究会（森柔研）は本学柔道整復学科の卒業生が中心となって活動している研究グループです。定期的に開催している勉強会を中心に、年1回の学術集会を開催したり、紀要集を発刊するなど活動しています。

勉強会には毎回、著明な講師の先生を招いており、多くの会員が参加しています。また、昨年度より在校生のみなさんにも参加していただけるようになり、増々盛況な集まりとなっています。

森柔研では卒業生、在校生、学科、職種を問わず多くの方に役立つテーマで勉強会を開催しています。皆さんの参加をお待ちしています。詳細は下記の連絡先までお問合わせ下さい。

■ 問合わせ先

森ノ宮柔道整復研究会事務局　担当：伊黒、外林、老後

TEL：06-6976-6889　E-mail：sotuken@morinomiya.ac.jp　Face bookページ「森ノ宮柔道整復研究会」も御覧ください。

（伊黒浩二）

みどりの風クリニック新卒者研修会を開催しました

3月9日（土）、みどりの風クリニック新卒者研修会（森ノ宮医療学園校友会、森ノ宮医療学園附属みどりの風クリニック·みどりの風鍼灸院主催、森ノ宮医療学園、森ノ宮柔道整復研究会）を開催し、約80名の学生や卒業生が参加しました。

今回の講演内容

❶「クリニックとの係わり方～患者さんの紹介や同意書について～」宮﨑義雄（院長／医師·整形外科）
❷「ダイエットあれこれ」新谷卓弘（医師·漢方内科）
❸「心に残る症例」中島茂（鍼灸師·みどりの風鍼灸院）
❹「当院での投球障害の診かた」池上誠一（理学療法士·リハビリテーション科）

どの講演もとても興味深い内容で、患者さんの紹介のしかたや同意書の持つ意味、生理学的観点から考えたダイエット、実際の貴重な症例、投球障害を診る上でのヒントなど、授業だけではわらないこともたくさん含まれており、これから医療業界に羽ばたく新卒の方々にとってはもちろんのこと、卒業生の皆さんにとっても大変勉強になるものでした。

新卒の方々には、今回得た新たな知識を基に、臨床の現場で活躍していただければと思います。そして、今後も勉強する姿勢を持ち続け、本校での勉強会に積極的に参加していただきたいと思います。

（伊黒浩二）

講道館大阪　寒稽古に参加しました

専門学校柔道整復学科教員　**笹田 岩生・入江 浩正**

2013年1月15日(火)～19日(土)の5日間、講道館大阪国際柔道センターにて寒稽古が行われました。外はまだ暗く寒い午前6時過ぎより、本校教員2名が参加いたしました。

講道館寒稽古は暑中稽古とともに、寒い冬と暑い夏の最も環境の厳しい時に心身を鍛えるという趣旨で、嘉納師範が明治15年講道館を創設されて以来、重要な行事の1つとして、長い伝統と歴史をもって今日まで続いています。

講道館大阪におきましても講道館同様に寒稽古が行われ、毎回はじめに、西岡弘先生(講道館柔道九段)からご自身の経験談やアドバイスなどをいただき稽古が始まります。また、皆勤者に賞が授与されるほか、最終日には稽古終了後に「おしるこ会」も開かれ、先生方や練習生、子ども達や保護者の皆さん全員で焼きたてのお餅が入ったおしるこをおいしくいただくなど、充実した5日間となりました。

会員の皆様も機会があれば、講道館大阪の寒稽古・暑中稽古に参加してみてください。早朝稽古のあとは、清々しい気持ちで一日を始められると思います。

左:大阪府柔道連盟最高顧問西岡弘先生(九段)
右:笹田岩生先生(八段)

日本マスターズ柔道大会　結果報告

専門学校柔道整復学科教員　**入江 浩正**

内股(足技)

裏投げ(真捨身技)

2012年11月10日(土)・11日(日)に行なわれました第9回日本マスターズ柔道大会・山口大会に、本校から私(入江)と奥野先生の2名が形競技の部、投の形に参加いたしました。

マスターズ競技は、高齢者の気力充実を図るという目的で多くのスポーツで行なわれていますが、柔道も1999年に第1回マスターズ世界選手権がカナダのWellandで行われ、日本では2004年12月に第1回日本マスターズ柔道大会が静岡県浜北市で開催されました。それ以降、国内での大会も毎年開催され、今回で第9回目となります。

投の形は、柔道整復学科では財団認定実技審査の審査課題となっているもので、柔道の代表的な投技を基に基本動作(崩し、作り、掛け、受け)を習得するためのものであり、日頃から柔道実技の授業で学生が稽古しているものです。私たちも指導の傍ら、内容の確認もかねて奥野先生と共に自己研鑽に努めてまいりました。本大会ではその甲斐あって、優勝することができました。私自身としては昨年に続き2度目の優勝となり、大変うれしく思っております。

このように、私たち教員もいろいろな形で精進しておりますので、学生の皆さんもそれぞれ目標を持ち、それに向かって日々精進してください。

学務課から

1 学務課に名称が変わりました

このたび、平成25年4月1日より学生支援課は「学務課」へ名称を変更しました。

なお、今回の名称変更により就職紹介、奨学金手続き業務などの内容、職員や管理体制に変更が生じることはありません。今後も、在校生と卒業生の皆さんを支援することに努めて参りますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

2 2013年度「第11回就職相談会」開催のご案内

最近の傾向として、就職を決め安心して国家試験に取り組もうと全国的に就職活動を開始する時期が年々早まっています。そこで、今年度の就職相談会は平成25年10月6日(日)に開催します。

求人先の先生方にお越しいただき、直接お話をうかがえる年1回の貴重な機会です。8月下旬より求人情報を1階エレベーター前に順次掲示していく予定ですので、備え付けの用紙にてエントリーしてください。求人先の先生には、皆さまのエントリー結果をお伝えし、参加をお願いします。エントリー数が少ない場合には、参加されないこともありますので、気になる求人先にはどんどんエントリーしておいてください。

今すぐでなくても、来年4月からの転職やアルバイト先を見つけるための、情報収集の場としても活用してください。また、色々な先生の治療方針などもうかがえるチャンスですので在校生はもちろん、卒業生の皆さまも奮ってご参加ください。

日時　**平成25年10月6日(日)**
11:30～13:00(11:00受付開始)(予定)
場所　森ノ宮医療学園専門学校　アネックス校舎4階

3 就職・開業支援講座「サマーフェスタ2013」開催のご案内

就職相談会に先駆けて7月30日(火)～8月1日(木)に「サマーフェスタ2013」と題して就職・開業支援講座(9講座)を開講します。

講座の詳細・申込方法については内容が決まり次第、本校ホームページおよび学内掲示板に掲載します。

開講日　**平成25年7月30日(火)～8月1日(木)(予定)**
時　間　13:00～19:00
場　所　森ノ宮医療学園専門学校本校舎
受講料　在校生…無料、卒業生・一般…1講座1,000円

4 生涯学習講座「M culture」開講のご案内

就職・開業支援講座で好評だった講座を皆さんのご要望にお応えして、生涯学習講座「M　culture」として平日に開講します。講座は全5回完結等で開講しますので、お気軽にご参加いただけます。これからも皆さんの学びたい情熱を応援するため、色々な分野の講座を順次開講していく予定ですので、ご期待ください。

開講日　**平成25年10月開始予定**
内　容　①かづきれいこ監修「心が元気になるメイクレッスン」
②全脳思考講座「患者と"わたし"の未来設計図の書き方」(仮題)
場　所　森ノ宮医療学園専門学校　本校舎
時　間　①19:00～20:30　②19:00～22:00
対　象　在校生、卒業生、一般の方も受講可
受講料　講座により異なります

※講座の詳細・申込方法については6月以降本校ホームページおよび学内掲示板に掲載します。

専門学校広報室から

パフォーマンス向上のためのスポーツセミナーを開催

3月17日(日)アネックス校舎にて、一般公開講座「パフォーマンス向上のためのスポーツセミナー　体のバランスを整えよう!コアトレーニング」を開催しました。

前回までは高校生を対象とした講座だったのですが、今回より大学生･社会人にも対象を広げた講座内容で募集をしたところ、当初の30名定員を大きく超える申し込みがあり、急きょ定員を90名に増やし、3グループに分けてのセミナーになりました。

当日は柔道整復学科教員の伊黒浩二先生、朝倉智仁先生、馬場裕介先生、石田春香先生にご協力をいただき、体幹についての説明や実技を交えたトレーニングを行いました。スポーツトレーナーを目指されている方々も多く大変好評でした。

また、今後の予定として、6月8日(土)には「メディカル野球教室」、夏頃には本セミナーのバージョンアップ版を開催企画中です。詳細については、ホームページやチラシ配布などで告知させていただく予定です。ご期待ください。

(永岡憲蔵)

春一番、アロマハンドトリートメントに82名

3月20日(水･祝)に三井アウトレットパーク大阪鶴見とのタイアップイベントとして、アロマハンドトリートメントの施術を実施いたしました。

柔道整復学科教員で医学博士の森　美侑紀先生と同学科吉川沙苗先生、及び北村さんの指導の下、アロマコーディネーター資格を取得した森ノ宮医療大学の学生8名と森ノ宮医療学園専門学校の学生3名に卒業生も加わり、ショッピングに来られたお客様にハンドトリートメントを行いました。

三井アウトレットパーク大阪鶴見は「国際花と緑の博覧会」の駐車場跡に造られた日本初の本格アウトレットモールで、国内外のスポーツ/アウトドアブランドの直営アウトレット店が集積しています。今回、読売広告社の提案でこの大型ショッピングセンターと森ノ宮医療学園のコラボ企画が実現いたしました。

1人10分ほどのトリートメントですが、学生たちはお客様と巧みに会話をはずませながら施術していました。スプリングフェアの初日ということもあり、家族連れが多く、小さなお子様と一緒にトリートメントを受けられる方もおられました。開始直後から雨が降り出すという悪天候で出だしはよくなかったものの、後半は順番待ちの方も出てくるほどになり、16時終了までに82名の方が受けられました。

また、東日本大震災復興支援チャリティイベントとして募金を行い、日本赤十字社に寄付いたしました。　(浅井行男)

治療室におすすめBook

森ノ宮医療大学附属図書館　司書　**井上 洋子**

『トッカン 特別国税徴収官』『トッカンvs勤労商工会』

高殿　円／早川書房(ハヤカワ文庫)
798円(税込)

ピカイチのお仕事小説

最近流行の「お仕事小説」の中でもピカイチの本をご紹介します。

主人公は東京国税局京橋地区税務署に所属する新米徴収官鈴宮深樹。上司の特別国税徴収官(略して特官=トッカン)の下、悪質で強烈な個性の滞納者達を相手に、罠に落ちたり、ライバルと火花を散らしたり…取り立てに奔走する中で確実に成長を遂げていきます。

そして第2弾「トッカンvs勤労商工会」で特筆すべきは「すき間」「体裁」という言葉です。鈴宮いわく、「すき間」は仕事をしていく上で自分だけに与えられた立ち位置、つまりそこでこそ自分の本領が発揮できるし存在価値が自覚できるのです。「体裁」とは「生きていくために本音を隠し、プライドで塗り固めた外観のようなもの」で、それをかなぐり捨てた時、凄まじい本性が現れるのです。井上真央主演でドラマ化されましたが、原作の味わいが損なわれなかった数少ない作品と言えましょう。

治療室におすすめCD

森ノ宮医療大学　大学院教授　**永瀬 佳孝**

『コンサート･フォー･ジョージ』

レーベル ● Aワーナーミュージックジャパン
収録時間 ● 117 分　ASIN ● B0000T09RA

なぜか心が落ち着く人…

ジョージ･ハリスンがジョン･レノンに初めて会ったとき、ジョンのギターには弦が4本しかなかった。弦が4本しかないギターを誰かから譲り受けたと思うが、ジョージはジョンにギターの弦は6本であると教えたり、コードの押さえ方を教えたりしたそうである。

ビートルズの曲は、ほとんどジョン･レノンとポール･マッカートニーによるもので、ジョージの曲は少ない。ジョンとポールは競ったようにアイデアを出し、それをまとめたのはもう一人のジョージ(マーティン、ほとんどのアルバムのプロデューサー)であった。ジョージは、しかたなく一人で曲作りをすることになる。ひとりは強い。学生さんの場合、みんなで勉強するとレベルが低くなるが、ジョンとポールの曲のレベルが低いわけではない。ジョンとポールの理想をジョージ･マーティンが完成させたので、ビートルズ解散後のソロ活動で、ジョンとポールの曲が、ビートルズ時代ほど完成していないと感じた人は多いと思う。

このアルバムは、ジョージの追悼のために集まった友人たちの演奏である。ギター8人、ベース2人、ドラム4人で、みんなが目立ちたがり屋の人ばかりでどうなることかと思われたそうだが、誰も目立とうとするものはいなかった。ただ、心からジョージの音楽を楽しんだ。ブライアン･エプスタインは、ジョンやポールといると何かしなければと思うが、ジョージといると心が落ち着いたそうである。ここに集まった人たちもそうだったと思う。

フロリダ代替医療大学で鍼灸研修

専門学校鍼灸学科教員　**房前 素徳**

平成25年3月15日～27日、米国･フロリダ州のフロリダ代替医療大学(FCIM)で研修を行いました。参加者は本学専門学校、大学鍼灸学科の8名。アメリカ出身で現在専門学校鍼灸学科3年在学中のメリッサ･ホートンさんと現地で鍼灸師として活躍する涼子エルジー先生に通訳を務めていただき充実した10日間となりました。

FCIMはTCM(中医学)を基本とし、学生は世界各国出身者で構成されています。また理事長のLarry L. Han先生による解剖学的理論に基づいた独自の手技「Tenstion Point Therapy」(TPT)をはじめ、耳鍼、チーム医療など日本とは多くの相違点があり、参加した学生たちは大いに刺激を受けたようです。

参加者からの感想

ハン先生の知識や技術だけでなく、情熱を持って学生指導、治療にあたる姿に魅了されました。東洋医学の「心身一如」の考え方を地球の反対側で聞けたことをとても嬉しく思いました。

副島香織:鍼灸学科3年生午前コース

ハン先生の技術はもちろんお人柄や鍼灸への熱意、患者との接し方、信頼関係の築き方、様々な点で勉強になりました。歴史ある街セントオーガスティンでアメリカの歴史を見せたいとおっしゃっていた先生の思いが伝わりました。

川野多佳子:鍼灸学科3年生午前コース

鍼灸師というもののあり方がこうありたいというものが今回の研修によって強く鮮明に見えてきました。治療院や学校の雰囲気も日本とは全く違っていて、とても新鮮で、自分も将来こんな部分は参考にしたいと夢も広がりました。

楠あゆみ:鍼灸学科3年生昼間部

森ノ宮医療学園出版部 書籍のご案内

季刊誌「鍼灸OSAKA」108号
特集「漢方医と鍼灸師のコラボレーション」
B5判128ページ　2,039円(税込･送料別)

医師との連携と言えば、まず同意書を思い浮かべる方が多いようですが,鍼灸の保険取扱い傷病名は限られており,鍼灸の適応範囲を狭く見せる側面もあります。同じ東洋医学の専門家として鍼灸に関心の高い漢方医と臨床で連携するにはどうすれば良いかを特集しました。

季刊誌「鍼灸OSAKA」109号
特集「がんへのアプローチ」
B5判125ページ　2,039円(税込･送料別)

画像未

今、癌はわが国の死因の第一位となっています。しかし死の病と言われてきた状況も変化し、がんと共存しつつ長寿を全うすることも稀ではなくなってきました。医療が本来の目的である患者のQOLの重要性に目を向けるようになってきた1つの現れとも言えます。今号ではがん治療の現状から鍼灸治療の意味と将来を見つめました。

☆「鍼灸OSAKA」関連記事を出版部ホームページより
ダウンロードできるようになりました。
https://www.morinomiya.ac.jp/book/

iPhoneアプリ『ツボ暗記カード』韓国語版を発売

韓国に12校ある韓医大学校の1つ、世明(セミョン)大学校附属忠州韓方病院の先生方の翻訳･監修。日本のApp Storeからも購入できます(32000Won･約2800円)。無料版(LITE)もありますので、どうぞお試しください。日本語版『ツボ暗記カード』アプリの紹介ページからリンクしています。

『ツボ暗記カード』(日本語版)
iPhone／iPad／iPod Touch／Android版も好評発売中
(定価3,580円)

『鍼灸OSAKA』絶版号をデジタル版で販売

鍼灸OSAKAのバックナンバー1号～108号のうち、すでに絶版となっている34タイトルをデジタル化して販売します。販売方法･価格等は出版部ホームページをご覧ください。

〔お願い〕これまでに「鍼灸OSAKA」にご執筆下さった校友会会員の方で、住所変更されている方は出版部までご一報ください。

新刊案内

『健康で知的なからだをつくる51のレッスン ～からだの気づきで脳が変わる フェルデンクライスメソッド～』
フランク･ワイルドマン著/藤井里佳訳
181頁　2,625円(税込)

私たちは無意識にからだを動かしています。その時、脳はどうしているでしょう?　生まれたての赤ちゃんは自分のからだの動かし方を脳との連動で一つひとつ学んでゆきます。本書は、そのからだに気づかせる感覚を取り戻すためのレッスンのなかから51を紹介。欧米では発達障害等の治療でスタンダードなメソッドです。

『はりきゅうロード ～日本全国、伝統医療の歴史を見て歩こう』
森ノ宮医療学園出版部編
168頁　2,730円(税込)

歴史から現代が見えてくる―。史跡や現存する史料、民間に伝承されている祭りや行事には実に多くのことが伝えられています。医療の歴史の奥深さと時代の伊吹、医聖の熱意を感じてください。第一線で活躍されている研究者によるエッセイは良きガイドとなってくれます。

『生きているとは ～看護の本質とこれからの看護』
薄井坦子著　38頁　525円(税込)

23年6月、森ノ宮医療大学看護学科開設記念講演会での薄井坦子先生の講演内容を1冊にまとめました。看護師教育に尽力しつつ、「看護とはなにか」を追求されてきた薄井先生ならではの言葉は、看護論にとどまらず、深く生命観や人間論に及んでいます。東洋医学を志す方々へも示唆に富む内容です。

話題のコアコンディショニング～身体の深層から見直す

柔道整復学科教員　**朝倉 智仁**

“コア”とは核や中心という意味がありますが、つまり身体の核(中心)になるものをコアと呼びます。では人のどの部分がコア(中心)に値するのかというと、頭部、胸部、腹部、骨盤部を構成する骨や、その骨を支える筋群がそれに当たります。この身体の中心部を構成する骨や筋群の機能が低下した場合、つまり身体の中心が不安定になることで四肢の動きにまで影響が出てしまうという症例が臨床で多く見受けられます。コア(中心部)の安定化は四肢の円滑な運動を導き出すことに繋がるため、コアが“使える”ということは身体活動を行う上で重要です。

見た目で筋肉が落ちてきたなど、比較的実感しやすいアウターマッスルも勿論大切ですが、このアウターマッスルを効率良く機能させるために実はコアが重要な機能を果たしていることにぜひ注目していただきたいと思います。最近、雑誌やTV番組などで紹介されるコアを鍛える様々なエクササイズが人気ですが、共通する点はアウターマッスルをできるだけ用いず、コア(中心部)を意識した動きである点です。

コアと呼ばれる筋肉は身体の深層に位置するために、見た目で筋肉(コア)が落ちてきたなぁと感じることはほとんどありません。

もし、最近長い時間立っていられないとか、姿勢が悪いとよく注意をされるといったことがもしあれば、コア機能が低下している可能性が考えられます。もし心当たりがあれば、ぜひコアエクササイズを取り入れて身体の深層から見直してみてはいかがでしょうか。

こころの疲れにアロマセラピー

森ノ宮医療大学大学院保健医療学研究科講師　**森 美侑紀**

近年、心身症や神経症など西洋医学のみでは十分な治療が難しい疾患が急増し、“予防医学”や“心の医療”の重要性が叫ばれています。昨年専門学校で開催した市民講座でも、“心”をテーマにした内容では120名を超える方が受講され、皆様の関心の高さが伺えました。

大なり小なり皆、ストレスや悩み、不安を抱えて生きていますが、その解消法や発散法がうまく見つからずためこんでしまう人が多くみられます。本能脳(大脳辺縁系)からの叫びや欲望を理性脳(大脳新皮質)で抑え込んで頑張り過ぎてしまうのです。本能脳と理性脳との摩擦はやがて大きなストレスとなり、生命脳(脳幹)にまで影響を及ぼし、自律神経の乱れや、心身症、神経症、うつ病などを発症してしまいます。スポーツやカラオケなど自分に合った方法で、本能脳からの欲求を適度に解放してあげることが大切です。

そんな方法の1つにアロマセラピーがあります。本能脳(大脳辺縁系)は“嗅脳”とも言われるほど嗅覚とは関係が深く、嗅覚を除去したラットは“うつ病モデルラット”として研究にも使われています。嗅覚刺激によって認知機能の改善が見られるという研究報告※もあり、脳や心に対する嗅覚の重要性に注目が集まっています。

不安や緊張、イライラやストレス、不眠に適した作用をもつ精油を、芳香やアロマバス、トリートメントなどの方法で取り入れ、日常的に嗅覚を刺激しておくことをお薦めします。

“こころの疲れ”は小さいうちにほぐしてあげたいですね。

※Psychogeriatrics. 2009 Dec;9(4):173-9.
Effect of aromatherapy on patients with Alzheimer's disease.
Jimbo D, Kimura Y, Taniguchi M, Inoue M, Urakami K.

市民公開講座
メディカルアロマセラピー開講
～精油のパワー『痛みの緩和をねらって』～

アロマセラピーで痛みは緩和出来るのか? 精油の鎮痛作用や抗炎症作用に関する最新の研究報告を交え、“痛み緩和”に有用な精油とその使用方法についてお話します。

実技　鎮痛や抗炎症に有用とされている精油を用いたセルフマッサージ
日程　**6月21日(金)／7月19日(金)**
各回 午後7時～8時半 ※全て1回完結です!
※膝上、肘上まで出せる服装でお越しください。

みどりの風クリニックだより

開院4年目。株分けした蘭がきれいに咲いています

みどりの風クリニック 院長　**宮﨑 義雄**

クリニックも順調に4年目を迎えました。平成22年1月、緑橋に移転･開院した際には多くの方からお祝いのお花や観葉植物をいただきました。ドライフラワーとなって今でも診察室にあるお花もありますし、入り口のエレベーターホールで元気にしている観葉植物もあります。お祝いで一番たくさんいただいたお花は蘭の花です。私の趣味もあり、いただいたあとに一株一株素焼きの鉢に植え替えて、リハビリ室の日当たりのいいところで3年間大切に育てています。今年もたくさんの株に芽が出てきて、花もきれいに咲き始めました。日々、蘭の株に霧吹きをしたり、日当たりや水やりの調節をしたりしていると、自然に開院当初の事が思い出されます。

多くの方に支えられて3年間無事にクリニックを運営できた事に感謝し、本年度もより一層頑張っていきたいと思います。これからもよろしくお願いいたします。

鍼灸師と漢方専門医の勉強会を始めました

みどりの風クリニック 漢方内科　**新谷 卓弘**

「鍼灸と漢方のコラボ」といいますと、そんなことは昔からしていたはずと思われますが、意外と連携を欠いていた、というのが現状ではないでしょうか。この最大要因は鍼灸医学と漢方医学の両方を修めた方が少ないからです。そこで、当院では2013年3月30日から毎月1回、鍼灸師と漢方専門医による勉強会を始めました。

私の師匠は寺澤捷年ですが、その叔父に小倉重成という眼科医で漢方医がおられ、「潜証（せんしょう）」を提唱されました。すなわち、アトピー性皮膚炎のように見かけはバリバリの陽証でも身体内奥には隠れた陰虚証（陰証で虚証の意）が併存している患者が昭和50年頃から増えてきたことを指摘したのです。この要因として、陰性食品の多食や、車社会で運動不足となり熱源である筋肉量が減ったり、冷房の普及による寒冷刺激の暴露があげられます。

潜証のあるアトピー性皮膚炎では、例えば、朝、茯苓四逆湯を服用し、夕、白虎人参湯を飲んで調子のよくなる方がいます。この場合、鍼灸医学の「補而後瀉」の考え方が非常に役立ったのです。まさに鍼灸と漢方の素晴らしいコラボレーションではないでしょうか。

みどりの風鍼灸院 ～心に残る症例④～

みどりの風鍼灸院　**中島 茂**

71歳、男性、会社役員。専門医療機関で腰部脊柱管狭窄症と診断を受けて手術をすすめられたが手術はしたくないとのことでインターネットを検索して色々な治療法を調べた結果、鍼灸治療に行き着いた。平成21年7月に当学園附属診療所を受診後、当鍼灸院の鍼灸師と直接話しがしたいということで、患者さんと30分程話をした結果、5日後から鍼灸治療を開始した。主訴である右腰下肢の痛みと痺れは治療回数とともに改善していったが治療12日目から37℃前後の微熱が続いた。治療55日目には咳と右前胸部の痛みが出現する。咳が続くため当内科の診察を勧めた。胸部X-P撮影の結果、右肺野に大きな影が認められたので担当医師がS病院を紹介した。精査の結果、小細胞肺がん（進行度Ⅳ期）と診断された。患者さんは驚きを隠せなかったが、現実を受けいれるのに時間がかからなかった。鍼灸治療を受ける前のインフォームドコンセントにおいても納得のいくまで質問をされるなど意思の強さが印象的だった。「とにかく私は仕事一筋でやってきた。わたしから仕事をとれば死んだも同然だ」と言われ、がんに負けていられない。今できる最善のことをしていく。「わたしは、鍼灸治療に出会えてよかった。東西医療でがんと戦います」と鍼灸の良さを“脊柱管狭窄症の鍼灸治療”で実感したと述べられた。抗がん剤治療をすると嘔気があるが、鍼灸治療後はムカムカが軽減する。鍼灸治療を受けると気持ちが良いと死去される2週間前まで来院された。主訴以外の症状を呈し、その症状のサインは何を示していたのか、患者さんの死をもって再認識させられた症例であった。

森ノ宮医療大学　寄付金の募集について

平素は本学の大学運営並びに教育研究事業に格別のご支援を賜り、誠に有難うございます。また、第1期寄付金募集期間におきましては、多くの方々よりたくさんのご支援を賜りましたこと、ここに深く感謝の意を表します。

本学は平成19年4月の開学以来、地域医療を担う専門職医療人を育成する大学として教育･研究環境の整備に努めてまいりました。平成23年3月には、第一期生を無事世に送り出すとともに、同年4月には看護学科および大学院保健医療学研究科修士課程をスタートさせ、より多くの優秀な学生や気鋭の研究者が集う大学を目指してきました。さらに、平成24年4月から、鍼灸学科にスポーツ特修コースを設け、中学校･高等学校教諭一種免許状（保健体育）が取得できる教職課程の認定を受けることができました。今後も引き続き臨床、研究、教育の分野で活躍できる人材を育成する大学として、施設や教育･研究機材の更なる整備が必要不可欠であると考えております。また、在学生や卒業生はもとより、広く地域社会からの要望に応え、より一層魅力あふれる存在意義の明確な大学として広く社会貢献に資するよう、教職員一同、懸命に努力を積み重ね、高度専門医療職業人の養成を柱として邁進していく所存です。

森ノ宮医療学園、森ノ宮医療大学は今後一層、社会の期待に応えるべく、継続して環境整備に努めてまいります。何とぞ寄付金募集の趣旨をご理解くださり、今後ともご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

なお、ご寄付いただいた皆様のご芳名は大学にて末長く顕彰させていただきます。

学校法人森ノ宮医療学園　理事長　清水 尚道

森ノ宮医療大学　学長　荻原 俊男

森ノ宮医療大学　施設･設備拡充のための寄付金申込者ご芳名

平成24年10月1日～平成25年3月31日　お申込み分（敬称略）

温かいご支援（ご寄付）に心より感謝申し上げます。

校友会会員の皆様をはじめ保護者ならびに関係者の皆様より多くのご寄付を賜り、心より厚く御礼申しあげます。平成24年10月1日より平成25年3月31日までにご寄付いただきました方々のご芳名を掲載し、感謝の意に代えさせていただきます。今後とも教育の一層の充実発展のために、引き続き多くの皆様からのご支援とご協力をお願い申し上げます。

- **個人**　1万円 …… 石原幾美子（専･卒業生）
  関口芳夫（専･卒業生）
  100万円 …… 鷲見芙法（専･教職員）
- **団体**　105万円 …… 森ノ宮医療大学教育後援会※（355万円）

総計207万円

※ご芳名は、個人･法人に区分し、金額ごとに掲載いたしました。また2回以上のお申込みの場合は右端に累計金額も掲載させていただきました。

寄付金累計状況（平成25年3月31日現在）　（単位:円）

期　間	寄付金合計額
平成24年10月1日～平成25日3月31日	2,070,000
平成19年12月1日～平成25日3月31日	41,320,000

お問い合わせ：森ノ宮医療大学法人本部／寄付金担当:瀬川　e-mail：kifu@morinomiya-u.ac.jp